



地域連携

ACTION

中日新聞 企画反響レポート

四日市市が市制施行120周年 三重版で4ページ特集

三重県最大の人口を有する四日市市が8月1日に市制施行120周年を迎えました。古くは「市」の立つ日に由来する商業都市として知られ、戦後は旧海軍の燃料廠跡地に出来たコンビナートでの石油化学製品の生産によって、日本の高度経済成長を支えてきました。また、近年では東芝メモリーの工場が目立っており、石油関係以外の生産も盛んです。

本特集ではリーダーである四日市市長、四日市商工会議所会頭へのインタビューにとどまらず、負の歴史といえる四日市公害から環境都市への転換についてや、伝統産業の萬古焼の新たな取り組み、東京五輪出場も期待されるボルダリング選手も取り上げるなど、今の四日市市の多面的な部分の紹介に努めました。

四日市市は元気です。お伊勢参りの際には、是非、四日市にもお立ち寄りください。
(名古屋本社広告三部 三重アドセンター 水谷哲也)

四日市市制施行120周年特集 1P→

自然と産業が共存して、元気な市
四日市を紹介

環境都市への転換や伝統産業の
萬古焼の取り組みなど充実した
記事内容

4P↓

3P↓

2P↓

2017年8月1日付中日新聞朝刊全三重版センター版4P特集

本件のお問い合わせは、中日新聞広告局 営業推進部 電話052-221-0692(2017/08/10)